

表2 平成18年7月2日現在のHIV感染者及びAIDS患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計^{*1}

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	異性間の性的接触	1,426	456	1,882	288	703	991	1,714	1,159	2,873
	同性間の性的接触 ^{*2}	3,194	1	3,195	215	0	215	3,409	1	3,410
	静注薬物濫用	18	1	19	19	2	21	37	3	40
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 ^{*3}	86	29	115	26	16	42	112	45	157
	不明	496	63	559	276	491	767	772	554	1,326
	HIV合計	5,233	558	5,791	828	1,219	2,047	6,061	1,777	7,838
AIDS患者	異性間の性的接触	1,141	132	1,273	210	146	356	1,351	278	1,629
	同性間の性的接触 ^{*2}	971	1	972	85	2	87	1,056	3	1,059
	静注薬物濫用	10	2	12	17	0	17	27	2	29
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*3}	65	13	78	16	8	24	81	21	102
	不明	552	55	607	275	124	399	827	179	1,006
	AIDS合計 ^{*4}	2,748	206	2,954	604	284	888	3,352	490	3,842
凝固因子製剤による感染者 ^{*5}	1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438	

*1 平成17年までは確定値、平成18年は平成18年7月2日現在の速報値である。

*2 両性間性的接触を含む。

*3 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*4 平成11年3月31日までの病状変化によるAIDS患者報告数154件を含む。

*5 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成18年6月30日)	219名
エイズ予防法 ^{*6} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*7}	592名

*6 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*7 「血液凝固異常症全国調査」による2005年5月31日現在の報告数